



剛になったお母さん

野坂昭如著
日本の文学21金の星社

山口 祐子

戦後71年。8月の終戦記念日を前に一編の短い物語をご紹介しますと思います。
著者、野坂昭如は昨年亡くなり、その姿はアル中の変なおじさんでしたが、彼の作品は自身の体験を元に描いた純文学作品であります。
物語は戦時中、空襲で逃げ遅れた母子が死にゆくお話で、灼熱に喘ぎながら母は幼い子に胸から汗、目から涙、出ないはずの乳をしぼり出し、とうとう体の毛穴から血が吹き出るまで体の水分を与えます。乾き切ったなら干物のように、凧のように空へ飛んでいきます。「幼子がどうせ死ぬなら苦しみを少なく、その分苦しみを私に与えてください」と思う母の心はどんなに無念だったことか。私は横浜大空襲を体験した母を持ちますが、自分の生まれた時が少し遅ければ、幼子の姿は自分自身であったかもしれませんが、また時が進めば、母の姿はこれからの自分自身でもありません。今は平和な時代であります、遠くない昔に大切な人を思いながら消えた命が沢山あります。この物語を読むたびにその魂を覚えます。どうか、ささやかな幸せが続きますように。一人ひとりの心の中が穏やかな気持ちでいられますようにと、一人の母として願わずにはいられません。

のぎっ子通信 赤羽みちえ



ホフマン館 歴史講演会

野木宮合戦

—鎌倉幕府成立の前提—

- 【日時】 8月28日(日) 午後2時～4時
- 【場所】 野木ホフマン館(交流センター) 第1・2研修室
- 【定員】 70名(申込先着順)
- 【講師】 東京都立大学名誉教授 みねぎし すみお 峰岸 純夫 先生



(略歴) 群馬県生まれ。慶應義塾大学大学院文学研究科史学専攻修士課程修了、後に中世の東国に関する研究で文学博士を取得。小山市史をはじめ地方史編纂に従事。中世東国史研究の第一人者。



野木神社(現在)

- 【申込方法】 野木ホフマン館(野木町大字野木3324番地10)に直接お電話又は直接来館にてお申込みください。
- 【申込期間】 8月9日(火)～23日(火)9時～17時
- 問 野木ホフマン館 ☎0280(33)6667 ※月曜日休館日



ほりかわ こうへい
堀川 航平ちゃん (4歳6か月)
けいた 圭太ちゃん (1歳9か月)

にこにこ笑顔の優しいお兄ちゃん。いつもお兄ちゃんのお隣り元気いっぱいいな弟。水遊び気持ちいいね♡

問 総合政策部政策課 ☎(57)4134

町の人口 7月1日現在

◇人口 男 12,598人 女 12,736人 計 25,334人 ◇世帯数 9,697